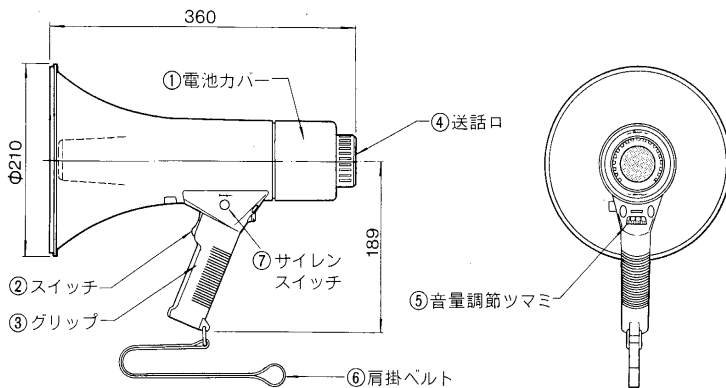
TOSHIBA

東芝非常用トランジスタメガホン取扱説明書

TM−131S（サイレン付）

このたびは東芝非常用トランジスタメガホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの非常用トランジスタメガホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえ

特にご注意を

■定期的に点検してください。
非常時に備えるサイレン付メガホンは常時、電池を入れたままにしますので、電池の消耗には特にご注意ください。消耗した電池を入れたままにしておきますと、非常時に役立たないばかりか、電池が液もれを起こしメガホン全体を不能にすることがありますので、少なくとも6ヶ月に1度は電池を点検し、動作を確認してください。

■不必要なときには、あまりサイレンを鳴らさないでください。周囲の迷惑となり、電池のむだ使いとなります。

■温度の高いところ（直射日光のさし込む窓やストーブなどの暖房機器の近くなど）屋外での保管はさけてください。故障の原因となります。

■防滴構造になっていますが、マイク部には直接水がかからないようにしてください。屋外使用で雨などにぬれたときはすぐに水分をふき取り、よく乾燥させてください。

■汚れを落とすときは、中性洗剤（台所用）をご使用ください。シンナーやベンジン、または化学ぞうきんなどを使用しますと変形、変色することがありますので絶対に使用しないでください。

■分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

使いかた

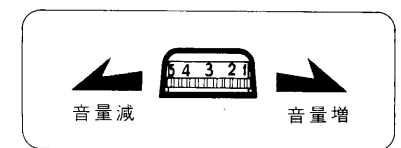
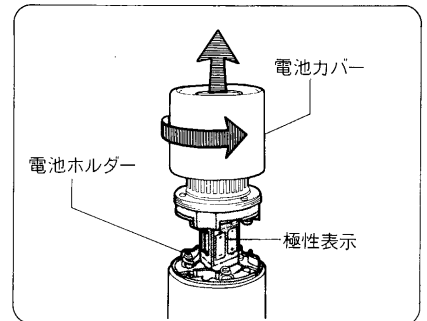
■乾電池を入れてください。

● 電池カバー①を矢印の方向にまわして取りはずしてください。
● 単2乾電池（SUM−2）6個を極性表示に従って電池ホルダーに入れ、電池カバー①をもとどうりにしっかりとしめてください。（極性は本体内部に表示してあります。）

■拡声放送のしかた

● グリップのスイッチ②を引くと電源が入り、拡声ができます。離せば電源が切れます。スイッチ②は話すときだけ引くようにしますと、乾電池を無駄なく使用できます。サイレンを鳴らしているときでも、スイッチ②を引くとサイレンが止まり話すことができます。

電池カバー
電池ホルダー
極性表示

● 音量調節ツマミ⑤でハウリング（キーンという音）の起きない範囲で適当な音量に調節してください。
● 口もとをできるだけ送話口④に近づけてお話しください。離しすぎると音量不足になることがあります。

■サイレン音の放送のしかた

● サイレンスイッチ⑦を〝カチッ〞というまで押しますとサイレンが鳴ります。サイレン音は音量調節ツマミに関係なく一定の音量で鳴り続け、再びサイレンスイッチ⑦を押すと切れます。
● サイレン音が放送中でもグリップのスイッチ②を指で引くとサイレン音が止まり拡声放送ができます。
● グリップのスイッチ②から指を離すと、再びサイレン音が放送されます。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店または、東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは、形名、およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

規　格

電　　源	DC 9V（単2乾電池6個）
消費電力	22W以下
定格出力	13W（最大出力20W）
ひずみ率	10%以下（定格出力時）
総合周波数特性	700Hz 〜 5kHz
通達距離	音声 約315m　サイレン 約500m（EIAJ）
乾電池持続時間	音声 約12時間　サイレン 約20分（EIAJ）
サイレン周波数	400Hz 〜800Hz（周期5秒）
サイレン出力音圧	110dB以上
外　　観	ホーンマウス、マイクカバー：ホワイト（マンセル10Y9/1近似色） レフレクター、グリップ、電池カバー：レッド（マンセル7.1R3.6/12.8近似色）
重　　量	約1.2kg（電池別）
使用マイクロホン	ムービングコイル形接話マイクロホン

東芝ライテック株式会社　照明電材事業部　〒140　東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL (03) 5463−8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2004年01月01日>